



2026年3月期 決算説明補足資料

2026年5月13日

株式会社A & D ホロンホールディングス

証券コード 7745

2026年3月期決算説明会開催のお知らせ

2026年5月27日(水) 15:30より、機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催いたします。

参加をご希望の方は、お手数ではございますが、下記メールアドレスまでご連絡くださいますようお願いいたします。

contact@irpartners.co.jp

サマリー

- 売上高、営業利益ともに前期比増収増益であるものの、通期予想に対しては若干未達
- 特別損失（計量法違反に対する是正対策費用や横領損失）の発生により当期純利益は前期比減益

全体業績概要

売上高：693億円 前期比+3.3% 通期予想達成率99.0%

営業利益：92億円 前期比+4.5% 通期予想達成率96.9%

計量法違反に対する是正対策費用(552百万円)や韓国の連結子会社における横領損失(243百万円)を特別損失に計上し、当期純利益は59億円、前期比-8.4%

(単位：百万円)	2025/3期 累計		2026/3期 累計		増減額	前期比	(ご参考)	
	額	率	額	率			期初予想	達成率
売上高	67,083	—	69,326	—	2,243	+3.3%	70,000	99.0%
売上原価	36,880	55.0%	37,875	54.6%	995	+2.7%	—	—
売上総利益	30,203	45.0%	31,451	45.4%	1,247	+4.1%	—	—
販売費及び一般管理費	21,390	31.9%	22,241	32.1%	851	+4.0%	—	—
営業利益	8,813	13.1%	9,209	13.3%	396	+4.5%	9,500	96.9%
経常利益	8,954	13.3%	9,470	13.7%	515	+5.8%	9,400	100.7%
特別損失	77	—	806	1.2%	729	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	6,468	9.6%	5,923	8.5%	-545	-8.4%	6,500	91.1%
1株当たり当期純利益(円)	235.63	—	216.33	—	-19.3	—	237.45	91.1%
ROE	16.1%	—	12.9%	—	—	-3.2pt	—	—

事業別業績概要

● 半導体関連事業

中期的な需要拡大基調に変化はないものの、前期までの旺盛な需要の反動の影響を受けて減収減益

● 計測・計量機器事業

米国ではEV関連の事業環境変化や関税の影響から厳しい状況が続いたものの、日本での安定した収益確保が下支えとなり増収増益

● 医療・健康機器事業

海外での堅調な需要や為替の影響によって増収、営業利益は米国関税の影響を受けたものの価格適正化や生産性向上の効果により概ね前年並みを確保

(単位：百万円)	2025/3期 実績	2026/3期 実績	前期比	(ご参考)	
				期初予想	達成率
売上高	67,083	69,326	+3.3%	70,000	99.0%
半導体関連	12,295	11,114	-9.6%	10,700	103.9%
計測・計量機器	30,665	31,545	+2.9%	33,300	94.7%
医療・健康機器	24,122	26,667	+10.5%	26,000	102.6%
営業利益	8,813	9,209	+4.5%	9,500	96.9%
半導体関連※	4,124	3,628	-12.0%	3,450	105.2%
計測・計量機器※	2,704	3,387	+25.2%	3,500	96.8%
医療・健康機器※	4,106	4,009	-2.4%	4,400	91.1%

通期業績予想

売上高 前期比 -1.9%の680億円、営業利益 前期比 -24.0%の70億円を見込む

● 半導体関連事業

半導体関連市場は引き続き中長期的な拡大が見込まれるものの、足元では中国市場における一過性の需要調整の影響が顕在化。グローバルでの販売・サービス体制を強化するとともに、新製品開発を通じた製品ラインアップの拡充を進め、中長期的な成長軌道への回帰と収益基盤の強化に取り組む

● 計測・計量機器事業

環境規制強化や自動化の進展、品質・認証要求の高まりなどを背景に、グローバルで計測・計量ニーズは高度化の一方、足元ではEV関連投資の抑制などに伴う需要調整の影響が顕在化。重点地域における販売強化など既存事業の深耕により安定的な収益確保を図るとともに、対象業界・応用分野の拡張を進め、将来の成長に向けた事業基盤の強化に取り組む

● 医療・健康機器事業

医療DXの進展を背景に中長期的な需要拡大が見込まれる一方、米国関税政策や海外インフレに伴うコスト上昇が収益性に影響。さらなる原価低減や高付加価値製品の拡販を通じて収益性の改善を進めるとともに、成長分野を中心とした需要の取り込みにより、安定的かつ持続的な事業成長を目指す

(単位：百万円)	2026/3期 実績	2027/3期 予想	増減率
売上高	69,326	68,000	-1.9%
営業利益	9,209	7,000	-24.0%
経常利益	9,470	6,900	-27.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,923	4,500	-24.0%
1株当たり 当期純利益(円)	216.33	164.35	—

※中東情勢の影響は、現時点において算出困難なため、通期業績予想に織り込んでおりません

想定為替レート：1米ドル150.00円、1露ルーブル1.90円

中期経営計画の見直し

当社グループは長期ビジョンの実現に向けたSTEP1としての中期経営計画（2026年3月期～2028年3月期）を推進してまいりましたが、直近の世界経済の動向および事業環境の変化が業績に与える影響を踏まえ、中期経営計画を見直すことといたしました。中期経営計画の基本テーマや成長戦略の方向性は維持しつつ、来期以降の業績回復および中長期的な成長軌道への回帰を確実なものとするため、各事業の収益力を一層強化し、持続的な企業価値向上を目指してまいります。

中期経営計画テーマ（FY2025～FY2027） 事業価値の再定義と基盤の再構築

(単位：億円)	2026/3期				2027/3期				2028/3期			
	当初計画	実績	差異	差異率	当初計画	修正計画	差異	差異率	当初計画	修正計画	差異	差異率
売上高	700	693	-7	-1.0%	745	680	-65	-8.7%	800	755	-45	-5.6%
営業利益	95	92	-3	-3.1%	104	70	-34	-32.7%	117	99	-18	-15.4%
営業利益率	13.6%	13.3%	-0.3%	-	14.0%	10.3%	-3.7%	-	14.6%	13.1%	-1.5%	-

詳細については、5月13日公表の
「中期経営計画（2025年度～2027年度）見直しについて」をご参照ください。
当社[IRサイト](#)はこちらから

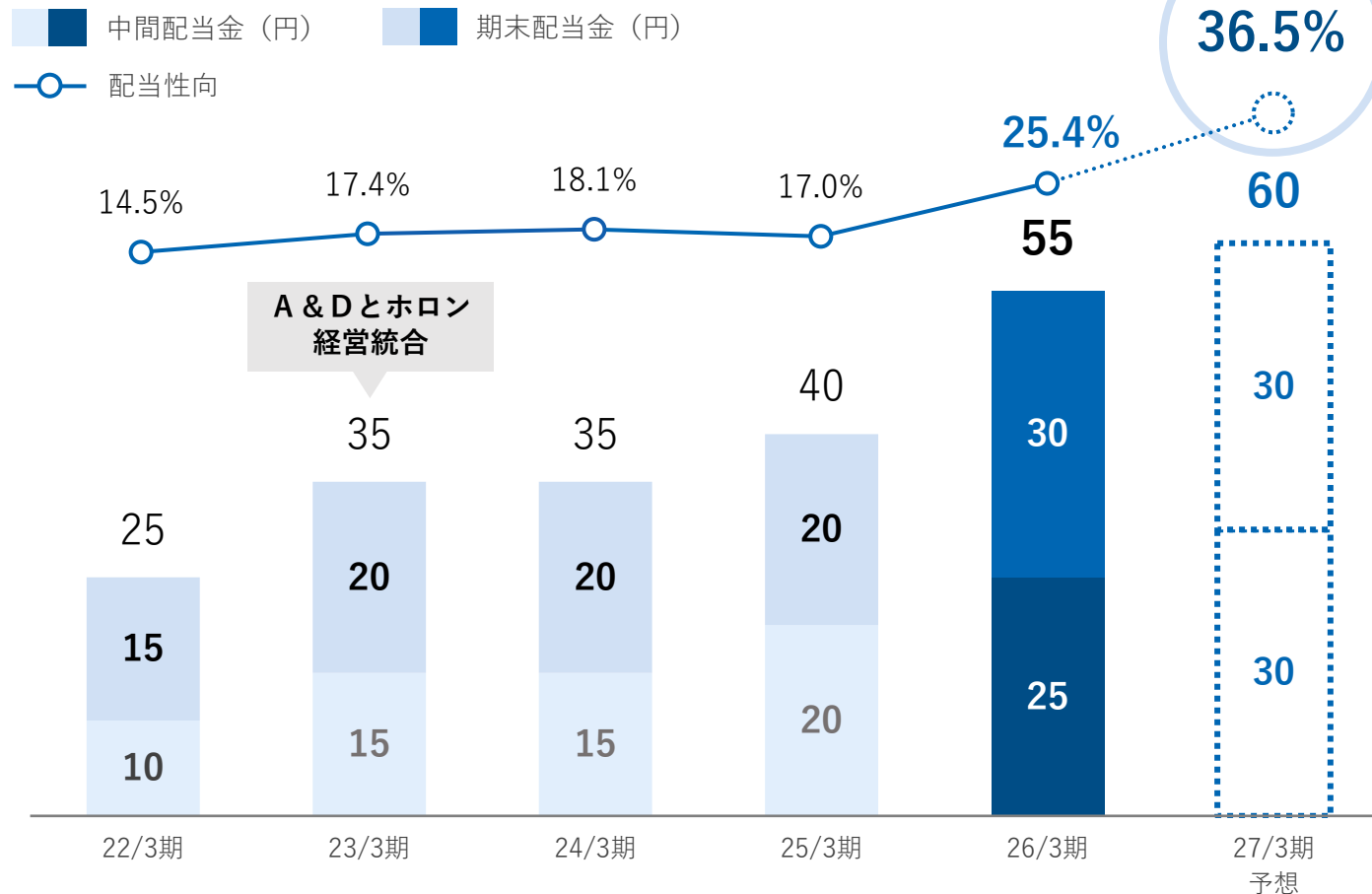
26/3期の期末配当は5円増配の30円（年間配当合計55円）

27/3期の配当予想は年間配当5円増配の60円（中間30円、期末30円）

- 26/3期は売上高、営業利益ともに前期比増収増益、特別損失の計上により当期純利益は計画未達
- 27/3期業績予想は、市場環境の変化を踏まえ減収減益を見込むものの、主に一過性要因による影響であり、中長期的な成長戦略および事業拡大方針に変更はなし

財務基盤および安定的なキャッシュ創出力等を総合的に勘案し、株主還元充実の観点から、26/3期比5円の増配を見込む

配当性向
27/3期予想 **36.5%**



EPS	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期 予想
	172.92	201.33	192.91	235.63	216.33	164.35

AND

HOLON

A&Dホロンホールディングス



A & Dホロンホールディングス
IRサイトは[こちら](#)から